

各都道府県教育委員会教育長 様  
各都道府県国語教育研究団体長 様  
各 学 校 長 様  
各 校 国 語 科 教 諭 様

全国高等学校国語教育研究連合会（全国連）  
会 長 佐藤 和彦（東京都立広尾高等学校校長）  
全国連第50回研究大会兵庫大会  
実行委員長 小山 智久（兵庫県立長田高等学校校長）

## 全国高等学校国語教育研究連合会 **第50回研究大会 兵庫大会** 兼 兵庫県高等学校教育研究会国語部会70周年記念秋季研究協議会

### 《 最 終 案 内 》

第50回研究大会兵庫大会を下記の要項に従って、兵庫県高等学校教育研究会国語部会の70周年記念秋季研究協議会と兼ねて開催いたします。

高等学校学習指導要領の改訂が今年度末に予定される中、1日目の11月16日には、総会に引き続いて文部科学省講話を予定しています。午後には、人間国宝であった三代目桂米朝師匠の一門から、桂米團治氏に米朝師匠の数多くの業績を人となりをお話していただくとともに、高弟の桂ざこば氏に落語を披露していただきます。さらには、「国語」に関わるさまざまなテーマに分かれての分科会を予定しています。

2日目の11月17日には、分散会として、兵庫県内の阪神・神戸・播磨地区の特色ある県立、神戸市立、私立の高等学校、中等教育学校8校を会場に、公開授業、研究発表・研究協議を行います。また、午後の文学研修では、兵庫県にゆかりのある文学に加えて、歴史的建造物にも触れていただけるコースをご用意いたしました。

神戸では、開港150年を迎え、多くの記念事業が行われています。「学びの専門家」としての資質能力の向上の一機会として、全国から多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、予定していた時期から最終案内の発送が遅れましたことをお詫び申し上げます。

#### 兵庫大会開催要項

### 大会主題 「 国語教師のアクティブ・ラーニング —— 主体的・対話的で深い学びの実現 —— 」

- 主 催 全国高等学校国語教育研究連合会 兵庫県高等学校教育研究会国語部会
- 後 援 文部科学省 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 兵庫県私立中学高等学校連合会  
兵庫県立学校長協会 兵庫県市立高等学校長会 一般財団法人兵庫県学校厚生会
- 期 日 平成29年11月16日（木）・17日（金）
- 日 程 第1日 全体会（歓迎アトラクション、総会、文部科学省講話、記念講演、分科会）  
第2日 分散会（公開授業、研究発表・研究協議） 文学研修
- 会 場 第1日 神戸芸術センター  
兵庫県神戸市中央区熊内橋通7-1-13（新幹線「新神戸駅」から徒歩5分）  
第2日 兵庫県内の高等学校・中等教育学校8校 文学研修3コース
- 参加費・資料代 7,000円（参加費 3,000円 資料代 4,000円）

※第1日の分科会、第2日の分散会は、各会場の都合により参加者人数に制限があります。

受付	ニオン グブ	休憩	開会式 ・総会	文部科学省講話	諸 連絡	昼休み	記念講演 (桂米團治氏・桂ざこば氏)	休憩	分科会 (ワークショップ等)
----	-----------	----	------------	---------	---------	-----	-----------------------	----	-------------------

■ オープニング 歓迎アトラクションとして、神戸市立兵庫商業・神港橋高等学校龍獅團による神戸市地域無形民俗文化財南京町春節祭で舞う龍舞と獅子舞が披露されます。

■ 文部科学省講話 講師：大滝 <sup>おおたき</sup> <sup>かずのり</sup> 一登 氏 (文部科学省初等中等教育局視学官)

■ 記念講演

講演

演題：「父、米朝を語る」

講師：桂 米團治 氏



落語披露

演目：「一文笛」

演者：桂 ざこば 氏



概要

人間国宝であった三代目桂米朝師匠が、滅びかけていた上方落語を今日のように復興させるまでの間にどのようなドラマがあったのか。落語の演者、研究者、創作者として、弟子を育てる教育者として、上方文化を育てる文化人として、さらに子どもを育てる父親としてなど、さまざまな側面から、弟子であり、ご子息である五代目桂米團治氏ならではの視点で語られます。さらには落語の芸芸性、話芸の魅力にまで言及される予定です。講演の後、米朝師匠の作った落語「一文笛」を一門の高弟、桂ざこば氏が披露します。

■ 分科会：授業で使える「主体的・対話的で深い学び」のヒントをご用意しました。

第1分科会 『コミュニケーション教育の現在— 2020年大学入試改革を見据えて—』

平田 オリザ 氏 (劇作家・演出家)

昨今、社会では、コミュニケーションの問題が、いささかヒステリックなほどに取りざたされています。では、そこで要求されているコミュニケーション能力とは何なのか。はたしてそれは、学校教育で身につけるべきものなのか。

最先端のコミュニケーション教育の動向を紹介しながら、問題の整理を試みます。



撮影：青木司

第2分科会 『句会ライブ』

夏井 いつき 氏 (俳人・エッセイスト)

「俳句の種を播く」というライフワークのために考案した「句会ライブ」を行います。「俳句ってこれでいいんだ」と、俳句への固定観念が塗り替わります。作句の基本的な方法の伝授。全員での作句。そこから選ばれた句の紹介と添削の提案など、俳句の授業を劇的に変える要素に満ちています。「ことばを育てることは心を育てること。」俳句を通して、この思いを伝えます。



MBS / TBS 系全国ネット 木曜夜7時「プレバト!!」

第3分科会 『文法教育の効用』

町田 健 氏 (言語学者)

日本語の文章を正確に理解するためにも、正しく理解してもらえ文章を自分で書くことができるようになるためにも、日本語がどのような仕組みで作られているのか、つまり日本語の文法を知ることが非常に重要です。この分科会では、文、文節、語などの単位についての問題や、語の活用、事柄が成立する時間に関わる表現、主語と主題など、日本語の文法を構成する主要な問題について、分科会に出席された方々にも考えていただきながら、解説をいたします。



第4分科会 『文学作品 in アクティブラーニング』 たつみ 都志 氏 (谷崎潤一郎研究者・小説家)

「細雪」など近代文学作品を題材としたアクティブラーニングの実践例を紹介します。文学の面白さを学ぶと同時に、広く深い視野を持ち、問題点を見つけて考察する力、表現する力を身につけさせるために、高校の教育現場でぜひ、採り入れて欲しいことをお話しします。



第5分科会 『身体のコミュニケーション機能とスピーチ』

荒井 好一 氏 (一般社団法人日本プレゼン・スピーチ能力検定協会理事長)

「目にケーション・手にケーション・声にケーション」の3つを柱に、プレゼンテーション能力を向上させる秘訣を伝授します。相手を引きつけるちょっとした工夫、それを知り、マスターすることで授業がより魅力的なものになります。また生徒の発表指導においても、指導するポイントがつかめます。具体的に実践的なスキルアップ講座です。スマートフォンなど、動画を撮影できる機器を持参してください。



第 1 分散会場

## 兵庫県立神戸高等学校

神戸市灘区域の下通 1-5-1 (地図 ①)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:35	10:40 10:50			12:00	

前身は「神戸一中」「県一高女」創立 121 年にあたる。勉学と部活動の両立、実践力を備えた人間づくり。勉学のほか、部活動や学校行事を通じ人間教育にも力点を置く。科学教育の充実、情操教育の深化、国際性の涵養。SSH 指定校。

	公開授業①	公開授業②	公開授業③	公開授業④
科目	1 年国語総合・現代文	1 年国語総合・漢文	2 年現代文 B	2 年古典 B
教材	「城の崎にて」	「雑説」	「科学・技術と生活空間」	「蜻蛉日記」
単元目標	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」
授業者	大西 ゆりか	荒木 勝一郎	儀貝 祥史	中井 一弘
	研究発表①		研究発表②	
テーマ	古作文に挑戦		グループ学習を活用した授業デザイン ～協働学習の視点から効果的なグループ活動を考える～	
概要	文法事項を定着させる目的で、古典文法を用いて作文させることを試みた。言語活動を通じて課題を解決する能力も養うため、アクティブ・ラーニング型授業を導入した。参加者のみなさんに授業内容を体験していただくため、今回の発表はワークショップ形式とさせていただきます。		夏目漱石「こころ」、丸山真男「『である』ことと『する』こと」を教材としてグループ学習を取り入れた授業実践を行った。試行錯誤を繰り返す中での成功例、失敗例を紹介しながら、効果的なグループ活動について考えていきたい。	
発表者	坂田 充範 (県立加古川東高等学校)		上月 さやこ (県立三田西陵高等学校)	
文学研修集合場所までの所要時間	A 阪神コース	バスと JR で 35 分		
	B 明石・須磨コース	バス又は JR 又は阪急電車で 30 分		
	C 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。		

第 2 分散会場

## 神戸市立六甲アイランド高等学校

神戸市東灘区向洋町中 4-4 (地図 ②)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40	10:30 10:45			12:00	

全日制普通科単位制高校。学習の分野を 7 つの「系」に再編成し、2 年次生から各自の興味・関心や進路に必要な分野に取り組み、将来の進路実現を効果的に行う。また、文部科学省 SSH にも指定されている。県下最大の公立高校のひとつ。

	公開授業①	公開授業②	公開授業③
科目	1 年国語総合・古文	3 年現代文 B	3 年現代文 B
教材	「中古・中世の物語」	「萩原朔太郎の詩」	「評論」
単元目標	歌を通じて交わされる登場人物の思いを考える。 「C 読むこと」	口語自由詩の成立とテーマを理解する。 「C 読むこと」	文章の論理展開の型を把握させる。 「C 読むこと」
授業者	中村 智・西村 敏明・橋田 尚志 (3 教室)	水川 景三	濱田 啓
	研究発表①		研究発表②
テーマ	「短詩型文学」におけるアクティブ・ラーニング		「問い」と向き合う教材開発 ～学びを深める仕掛けの試作～
概要	短歌創作の授業で行っているアクティブ・ラーニング型授業について発表する。模擬授業も行う。		文章を選んで問いを立てる——「教材」と「問い」のふたつを掛け合わせると、生徒たちは驚くほどに生き活きと、自身の考えを語り出す。彼らが原稿用紙に書き綴った言葉と、学びを深める授業展開を提示。素材選びのポイントと、問いの工夫を分析する。
発表者	佐田 憲三 (神戸市立六甲アイランド高等学校)		智原 あや (尼崎市立尼崎双星高等学校)
文学研修集合場所までの所要時間	A 阪神コース	六甲ライナーと JR で 30 分	
	B 明石・須磨コース	六甲ライナーと JR で 30 分	
	C 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。	

第3  
分散会場

# 神戸山手女子高等学校

神戸市中央区諏訪山町 6-1 (地図 ③)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:50	10:35 10:45			12:00	

大正13年創立、普通科はS特進、特進、進学の3コース、音楽科は2専攻を設置。「自学自習・情操陶冶」を建学の精神に掲げ、社会で役立つ力を育む独自のキャリア教育にも注力し、豊かに自立した人間性を育成する。

	公開授業①		公開授業②		
科目	1年国語総合・現代文		2年現代文B		
教材	「富嶽百景」		「日本人の美意識」		
単元目標	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 「C 読むこと」		評論を読みそこに提示された問題について自分の意見を表現する。 「C 読むこと」		
授業者	川村 吉明		御子柴 花観		
	研究協議①		研究協議②		研究発表①
テーマ	「このタイトルってなんだろう？」 ～「象徴」をつかんで、使って、実感！！～		「私の主張は〇〇です。」 ～「対比」をつかんで、使って、実感！！～		『対流』を起こす！ ～「えっ、それだけでいいの？」～ ～「自発的に発言する・自分たちで話し合う」ための仕掛け作り～
概要	公開授業①を踏まえ、レトリックを見抜くことや論理的な読解法を学び始めた生徒たちに、自分で使う、つまり「書く」ということを通して「象徴」をつかんで「実感」させる小説読解の在り方について協議を深める。		公開授業②を踏まえ、イコールの関係、対立関係、因果関係などの論理構造を学びつつある生徒たちに、表現活動を通じて、人間の本質や価値観、生き方などについて自分の考えを持たせる授業の工夫について協議を深める。		「対流」を生むのは「差」。「差」があればそこに「対流」が生まれる。「対流法」は今まで停滞していたグループワークを一気に活性化する魔法の試み。「考えの差」「好悪の差」「学力の差」「知ってる・知ってないの差」。教室に「差」を作るだけで、自然と話し合う、自然と自分の意見を主張し始める。学習は、やらされるものではなく、やりたいからするものだと実感する試みである。
発表者	川村 吉明 (神戸山手女子高等学校)		御子柴 花観 (神戸山手女子高等学校)		下浦 広章 (県立尼崎高等学校)
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース		JRで35分		
	B 明石・須磨コース		バス又は地下鉄で25分		
	C 姫路コース		移動時間の関係で案内しません。		

第4  
分散会場

# 灘高等学校

神戸市東灘区魚崎北町 8-5-1 (地図 ④)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40	10:30 10:40			12:00	

昭和2年、灘五郷の酒造家の篤志を受けて創立。創立に際し東京高等師範学校校長兼講道館館長の嘉納治五郎氏を顧問に迎えた。校是『精力善用』『自他共栄』による、リベラルな校風と担任持ち上がり制による中高一貫教育が特色である。

	公開授業①		
科目	1年国語総合・現代文		
教材	「トロンボーンを吹く女子学生」		
単元目標	ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 「C 読むこと」		
授業者	井上 志音		
	研究発表①		
テーマ	国際的視野を育む国語教育		
概要	学習者の主体的な「問い立て」を軸に据えた探究型の授業づくりについて、これまでの研究成果を示す。現代文を通じて、クリティカルな思考力の育成を目指す。		
発表者	井上 志音 (灘高等学校)		
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース		JRで35分
	B 明石・須磨コース		JR又は阪神電車で25分
	C 姫路コース		移動時間の関係で案内しません。

第5  
分散会場

# 兵庫県立宝塚北高等学校

宝塚市すみれが丘 4-1-1 (地図 ㊦)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:45		10:35 10:45		12:00	

普通科、演劇科、グローバルサイエンス科の3つの学科の特色をそれぞれ活かしながら、生徒の学力向上と進路実現に向けて、補習や高大連携事業などを実施している。部活動においては最近、水泳部・放送部・美術部が全国大会に出場している。

	公開授業①	公開授業②	公開授業③
科目	1年国語総合・現代文	2年現代文B	3年古典B
教材	「羅生門」	「疑似群衆の時代」	「大鏡」
単元目標	作品についての自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して述べる。 「A 話すこと」	文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 「C 読むこと」	古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 「C 読むこと」
授業者	清水 勉	岩島 淳	大道 正
	研究発表①	研究発表②	
テーマ	身につけさせたい「資質・能力」を明確化した、スキルアップドリルの開発	「三角ロジック」を用いて、根拠立てて表現する力をつける	
概要	教科特有の「見方・考え方」としての「言葉の働き、役割に関する理解と使い分け」の能力を養いつつ、評価規準としての「CAN-DO リスト」を明確化することで「見通し」と「ふり返し」によるメタ認知（汎用的スキル）を育み、主体的な学びを起こすことを目指す。	本発表は、定時制高校の生徒を対象に、小説や評論などを教材として、「主張」「事実」「理由づけ」の3つの観点（「三角ロジック」）から情報を整理して、根拠立てて自分の「主張」を伝える力（教科等を横断する汎用的なスキル）をつける試みである。	
発表者	藤田 遼（県立鳴尾高等学校）	勝部 尚樹（県立農業高等学校 定時制）	
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース B 明石・須磨コース C 姫路コース	バスとJRで60分 バスと阪急電車で60分 移動時間の関係で案内しません。	

第6  
分散会場

# 兵庫県立芦屋国際中等教育学校

芦屋市新浜町 1-2 (地図 ㊦)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40		10:30 10:40		12:00	

2003年に開校した中高一貫校。一般の中学校・高等学校にあたる前期課程・後期課程の6年間で、異なる文化を理解・尊重し、多文化共生社会の実現に貢献する生徒の育成を目指す。

	公開授業①	公開授業②
科目	5年次国語表現	6年次国語表現
教材	「ディベート」	「メディア・リテラシー」
単元目標	話し合い活動を通して、論理的に話す力を身につける。 「A 話すこと・聞くこと」	メディアの特性を理解し、活用できる力を養う。 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」
授業者	植山 早紀	杉谷 圭志
	研究発表①	研究発表②
テーマ	「実用物語文」 ～意図を持って『表現』し、『表現』の意図を『読む』姿勢を養う授業を目指して～	ジグソー法を用いた授業への挑戦その成果と課題
概要	物語文読解の授業を行う目的を考えたとき、真っ先に思い浮かぶのは「主人公の心情を読み取る」、「作品の主題を考える」、「〇〇心を養う」というフレーズである。しかし「資質・能力の育成」を念頭に置いたとき、物語文にそれ以外の方向性を見出すことができないだろうか。	ジグソー法の型を利用し、主体的な読者をいかにして育むのか、これまで一斉教授型の授業しか行ってこなかった授業を変えていくことができるかに挑戦した。課題は多く、課題の解決に向けて協議を深めていきたい。
発表者	名田 美賀（県立東灘高等学校）	吉田 卓馬（県立神戸鈴蘭台高等学校）
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース B 明石・須磨コース C 姫路コース	バスで20分 バスとJR又はバスと阪神電車で40分 移動時間の関係で案内しません。



第7  
分散会場

# 兵庫県立太子高等学校

揖保郡太子町糸井19 (地図 ⑦)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40		10:30 10:40		12:00	

コミュニケーション能力を高め、社会に適応していく生徒を育てていくことを目標に、アクティブ・ラーニングによる授業やプレゼンテーション学習を通じて、生徒同士・地域・社会との「つながり」を大切にした教育を実践。

	公開授業①	公開授業②
科目	1年次国語総合・古文	3年次選択国語表現
教材	「土佐日記」	「メディア・リテラシーの育成」
単元目標	登場人物の心情の変化を的確にとらえる。 「C 読むこと」	メディアによる表現の特色や効果について理解を深める。 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」
授業者	中村 碧	吉倉 健人
	研究発表①	研究発表②
テーマ	主体的・対話的な活動によるメディア・リテラシーの育成 ～MVを読む学習を通して～	深い学び はじめの一步 ～主体的で対話的な学びを目指して～
概要	生徒を取り巻く言語環境を考えると、国語科で扱う教材の幅を拡大する必要があるといえる。また画像や音声メディアは、生徒の主体的・対話的な活動を促す糸口にもなる。そこで本実践ではMVを集団で「読む」活動を通して、生徒のメディア・リテラシーの育成を目指している。	課題発見、意見交換、自らに問い直す深い学びの場を与える授業の実践報告。夏目漱石の「こころ」を、生徒が主体的に授業計画を立て実践した。協働と無為、共感と批判、生徒も教師も様々な反応を示したが、そこから「深い学び」の意味が見えてきた。
発表者	吉倉 健人 (県立太子高等学校)	岩本 麻衣子 (県立加古川北高等学校)
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース B 明石・須磨コース C 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。 徒歩とJRで70分 徒歩とJRで25分

第8  
分散会場

# 兵庫県立姫路西高等学校

姫路市北八代2-1-33 (地図 ⑧)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
8:45 9:25		10:20 10:30		12:00	

「質実剛健」「自主創造」「友愛協調」を校訓とし、哲学者の和辻哲郎をはじめ多くの人材を輩出した、来年度創立140周年を迎える伝統校である。スーパーグローバルハイスクールに指定されており、来年度国際理学科が開設される。

	公開授業①	公開授業②
科目	1年国語総合・古文	2年現代文B
教材	「枕草子」	「言語が見せる世界」
単元目標	文章に書かれた人物の心情を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「B 書くこと」「C 読むこと」
授業者	日浦 真耶	木岡 智子
	研究発表①	研究発表②
テーマ	「やってたよAL、やってみたよAL」	グループ学習を通じて歌ことばのイメージを育む ～『歌ことば歌枕大辞典』を使って～
概要	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の構築に向けて、現代文を主としたこれまでの実践をアクティブ・ラーニングの観点に沿って再検討するとともに、「対話的」「内化・外化」に焦点を当てた新しい試みを紹介する。対象教材は、「山月記」「舞姫」「神様」「センター試験・二次入試対策」など。	新古今和歌集の6首の解釈をするというグループ学習を通じて、生徒たちの学習意欲を高め、今後、生徒自身が主体的に深い学びへと向かっていくことを目的とした授業を試みた。生徒の意欲喚起だけに留まらない、より深い学びになるようなグループ学習について考えたい。
発表者	松浦 弘幹 (県立姫路別所高等学校)	新庄 真実 (県立神崎高等学校)
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース B 明石・須磨コース C 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。 バスとJRで70分 バスで25分

※本研究大会の情報は、以下の兵庫県高等学校教育研究会国語部会のホームページでもご案内しています。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kokugobukai/>

# 文学研修

## A 阪神コース〔芦屋市谷崎潤一郎記念館～倚松庵〕

たつみ都志先生の案内で谷崎潤一郎記念館と谷崎旧邸「倚松庵」に行きます。記念館で軽いレクチャーのあと、特別展示「春琴抄」を見ます。倚松庵では『細雪』の舞台であることを実感し、作品理解を深めましょう。

14:00	14:15	15:00	15:30	17:00
JR芦屋駅(南口)集合・発	=	芦屋市谷崎潤一郎記念館	=	倚松庵(現地解散)
<small>阪神魚崎駅まで徒歩約5分、JR住吉駅まで徒歩約12分</small>				

- 備考 ① 定員30人  
② 移動にはタクシーまたは貸し切りバスを利用します。  
③ このコースに参加を希望される方は、分散会に太子高校、姫路西高校以外をお選びください。

参加費 2,000円(記念館入場料400円、タクシーまたはバス代)

## B 須磨・明石コース〔須磨寺～移情閣(孫文記念館)～明石〕

『源氏物語』『平家物語』ゆかりの「須磨寺」を散策し、三層八角形の大正モダンな「移情閣(孫文記念館)」から明石海峡大橋をながめ、夏目漱石が講演を行った明石の「中崎公会堂」を訪れるコースです

14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:15	16:45	17:00	
JR三宮駅(東口)集合・発	=	須磨寺	=	移情閣(孫文記念館)	=	中崎公会堂	=	明石駅解散

- 備考 ① 定員30人(最少催行人員20人)  
② 移動には貸し切りバスを利用します。

参加費 2,500円(移情閣入場料300円、バス代)

## C 姫路コース〔姫路文学館～姫路城〕

城を借景として安藤忠雄氏が設計した姫路文学館内の回廊を巡り、桂米朝氏や播磨ゆかりの作家・学者の展示について学芸員が解説します。その後、世界文化遺産の姫路城を歴史講師が案内します。

13:45	14:00	14:50	15:10	17:00
JR姫路駅(中央口)集合・発	=	姫路文学館	=	姫路城(現地解散)
<small>姫路駅まで徒歩約15分</small>				

- 備考 ① 定員30人  
② JR姫路駅から姫路文学館への移動にはタクシーを利用します。  
③ このコースに参加を希望される方は、分散会に太子高校、姫路西高校をお選びください。

参加費 2,000円(姫路文学館入場料300円、姫路城入場料1,000円、タクシー代)

## ★ 情報交換会のご案内 ★

日時：平成29年11月16日(木) 第1日目

時刻：18時30分から

会場：ホテル北野プラザ六甲荘(公立学校共済組合神戸宿泊所) (地図 ③)

〒650-0002 兵庫県神戸市中央区北野町1-1-14

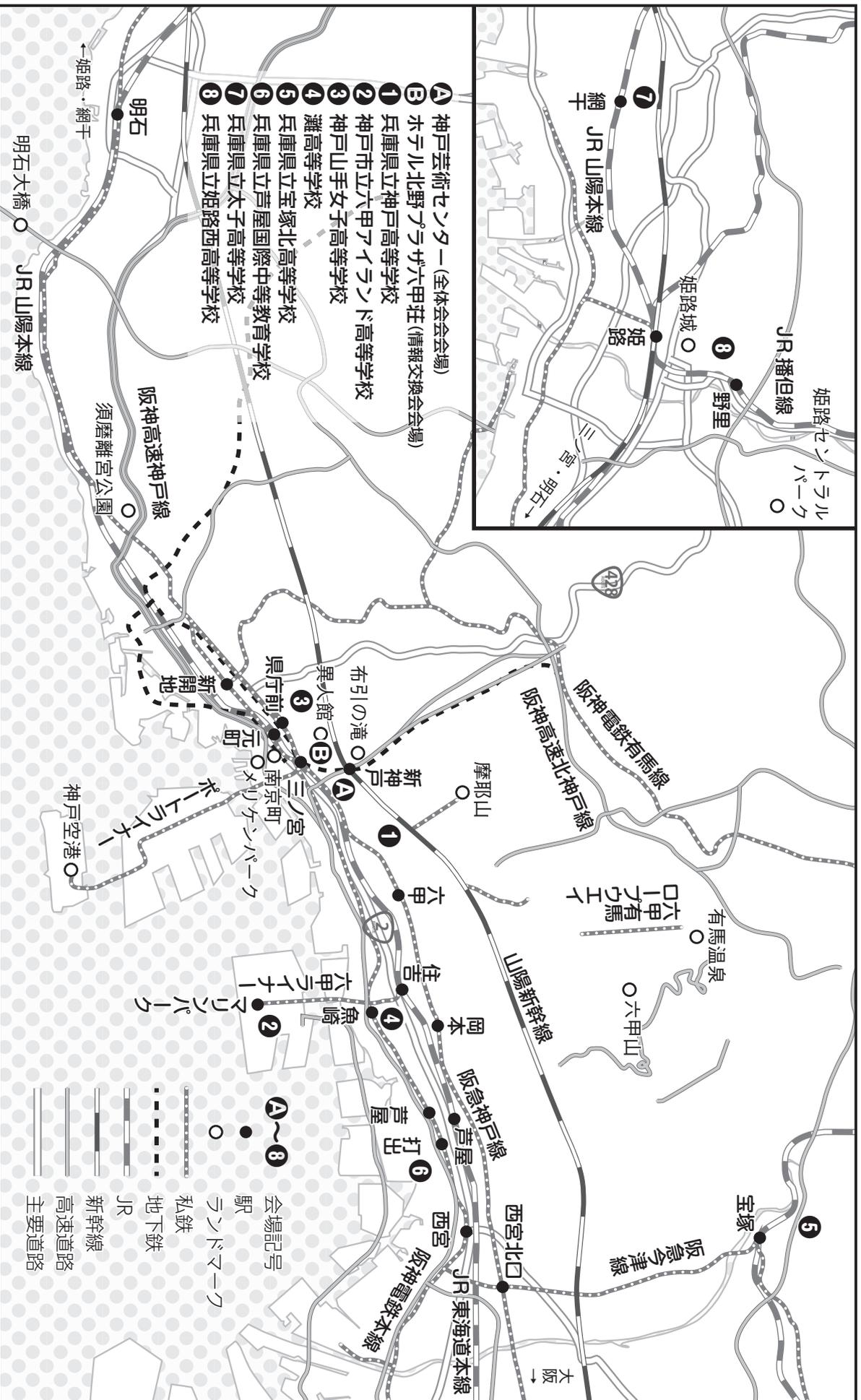
TEL 078-241-2451

会費：5,000円

日々の国語教育の実践について、情報交換し合える場にしたいと思っています。

全国から多数の先生方のご参加をお待ちしています。

参考 会場地図(全体会・情報交換会・分散会)



# 全国高等学校国語教育研究連合会第50回研究大会 兵庫大会 兼 兵庫県高等学校教育研究会国語部会70周年記念秋季研究協議会

## 申 込 の ご 案 内

謹啓、皆様方には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、「全国高等学校国語教育研究連合会第50回研究大会兵庫大会」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

さて、全国各地より大会に参加されます皆様方の便宜をお図りするため、大会参加ならびに情報交換会・宿泊・文学研修等のお世話をJTB西日本教育旅行神戸支店でお取扱させていただきますことになりました。

つきましては、申込方法を下記の通りご案内申し上げます。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

謹白

JTB西日本教育旅行神戸支店 支店長 高崎 邦子

本大会ではインターネット受付システムを利用しております。

◆参加申込 [大会参加(分科会、分散会の選択を含む)、昼食、情報交換会、大会集録冊子]

◆宿泊申込

◆文学研修申込

以上三つの項目のお申込及び支払い方法の選択はインターネット上で行って下さい。以下に手順をご案内いたします。

### I. 参加申込のご案内

#### 1 参加申込の流れ

① **パソコンをご利用の方**は、以下の URL にアクセスいただき、大会参加登録を行ってください。

<https://amarys-jtb.jp/50th-kokugokyouiku/>



**スマートフォンをご利用の方**は、右の QR コードを読み込んでアクセスしていただき、大会参加登録を行ってください。

- ・ホームページ左の「初めてご利用される方」画面から入ります。お申込される項目にチェックを入れ「次へ」をクリックして下さい。
  - ・個人情報登録画面で、ログイン情報・個人基本情報・メールアドレス・パスワード等を登録して下さい。個人情報登録確認メールが送信されます。
  - ・登録はおひとり様ずつお願いします。(複数人が一つの登録で申込みことはできません。)
  - ・2回目以降のお申込み操作はホームページ右「ログインID・パスワードをお持ちの方」よりログインして下さい。
- ② 個人情報登録⇒内容確認⇒参加者選択と進み、参加登録画面で「参加申込」「分科会」「昼食」「情報交換会」「分散会」「大会集録冊子」などご希望の事項の登録をして下さい。なお、いったん個人情報のみ登録し、参加内容は後日登録することも可能です(④参照)。但し**個人情報の登録だけでは参加申込をしたことになりませんのでご注意ください。**
- ③ 第1日目の分科会、第2日目の分散会(分散会場により、研究発表・研究協議まで選択するものもあります)には定員の設定があり、定員に近付くと△で示し、定員に達すると申し込みなくなります。早めのご登録をお願いします。
- ④ 参加申込を後日登録する場合及び参加申込内容を追加・変更されたい時は、ホームページ右下の「ログインID・パスワードをお持ちの方」よりログインして下さい。「マイメニュー」が表示されますので、画面真ん中あたり、参加申込欄のピンクの「追加で申し込む場合はこちら」をクリックして下さい。参加者を選択⇒参加登録(②③参照)となります。
- ⑤ 参加登録後⇒内容確認後申込み⇒支払いと進みます。支払い操作を後日行いたい方や、その他の申込みをされる方は画面下の「マイページへ」をクリックします。
- ⑥ すべての予約が完了されましたら、「マイページ」のメニューより「支払手続き」を選択し、支払い方法の選択を行って下さい。
- 以上で大会参加登録は終了です。

☆大会参加登録締切 平成29年10月13日(金) 23:59

#### 2 大会参加費等について

◆参加費・資料代 7,000円 (参加費3,000円+資料代4,000円)

※ 大会参加費等支払締切後の取消や当日欠席の場合、参加費の返金はありません。

#### 3 お支払い方法について

お支払方法は以下の4通りをご用意しております。「支払い手続き」のボタンより進んでいき、支払い方法を選択して下さい。

- ① 銀行振込(振込手数料は申込者負担となります)
- ② クレジットカード決済
- ③ コンビニエンスストアでのお支払い(参加登録後14日以内にお支払いをお願いします。)  
※ コンビニエンスストアのお支払いにはコンビニ収納代行手数料420円(税込)が別途加算されます。
- ④ ペイジーでのお支払い(参加登録後14日以内にお支払いをお願いします。)  
※ ペイジーでのお支払いにはペイジー収納代行手数料420円(税込)が別途加算されます。

☆大会参加費等支払締切 平成29年10月27日(金) 23:59

※お支払いの完了された方は申し込み内容をご確認の上、後日「確認書」を「マイページ」より印刷し当日受付デスクへ忘れずにご持参ください。大会参加券とお引替えいたします。

#### 4 領収書の発行について

- ・大会参加費の領収証は、11月16日(木)大会当日、受付デスクにてお渡しいたします。
  - ・情報交換会参加費の領収証は、情報交換会受付で情報交換会参加券と引き換えにお渡しいたします。
  - ・宿泊代金及び文学研修参加代金の領収証は、弊社にて発行いたします。ご希望の方は下記メールアドレスまで「宛名」「金額」(お支払いいただきました金額が上限となります)「但し書き」をご記入いただきご送信下さい。 **kyoryo\_mice@west.jtb.jp**
- 郵送いたしますので「お送り先の宛先・住所」もご記入下さい。

#### 5 分科会・分散会のご案内

第1日目(11月16日)に開催予定の分科会につきましては、会場、及び運営の都合上、事前に参加の分科会を選んでご予約下さい。また、第2日目(11月17日)に開催予定の分散会につきましても、会場、及び運営の都合上、事前に会場、または会場によっては研究発表・研究協議を選んでご予約下さい。

分科会、分散会には定員の設定があり、先着順の受付となります。定員に近付くと△で示し、定員に達すると申し込みなくなります。お早めに申し込み下さい。

#### 6 昼食のご案内

第1日目(11月16日)の昼食は、会場外でもとることができますが、ご希望の方の弁当の予約を受け付けます。

◆弁当(サンドウィッチ・ジュース)1,000円

※大会参加費等支払締切後の変更や取消には応じられません。また当日申込はできませんのでご注意下さい。

#### 7 情報交換会のご案内

第1日目(11月16日)18時30分から開催予定です。詳細は大会登録サイトにてご確認ください。

◆会費5,000円

※大会参加費等支払締切後の変更や取消には応じられません。

#### 8 大会集録のご案内

文部科学省の講話等大会の様子を記録した大会集録を発行いたします。平成30年3月末までにお手元にお送りする予定です。ご希望の方はお申し込みください。

☆料金 1冊1,000円(送料・税込)

※大会参加費等支払締切後の変更や取消には応じられません。また追加発行は行いませんのでご注意下さい。

## II. 宿泊申込のご案内

宿泊はJTB西日本教育旅行神戸支店が企画・実施する募集型企画旅行です。

「参加申込」と同様、ご宿泊も大会登録サイトにてお申込下さい。

11月15日(水)・16日(木)：宿泊につきまして、以下のホテルをご用意させていただいております。料金その他の詳細については大会登録サイトにてご確認ください。先着順での受付となりますので、ご宿泊をご希望の方はお早めにお申込み下さい

地区	ホテル名	備考	地区	ホテル名	備考
神戸(三宮)	グリーンヒルホテル神戸	15・16日設定	神戸(神戸)	神戸プラザホテル	16日のみの設定
神戸(神戸)	チサンホテル神戸	15・16日設定	神戸(三宮)	神戸三宮東急REIホテル	15・16日設定
神戸(三宮)	ANAクラウンプラザホテル神戸	15・16日設定	宝塚	宝塚ホテル	16日のみの設定
神戸(三宮)	神戸三宮ユニオンホテル	15・16日設定	姫路	ホテル日航姫路	16日のみの設定
神戸(三宮)	ホテル北野プラザ六甲荘	15・16日設定			

※宿泊についての変更・取消は大会登録サイト内「マイページ」左上の「取消」より操作して下さい。トラブルを避けるため、電話での変更・取消はお受けできませんのでご了承下さい。

☆**宿泊申込締切 平成29年10月13日(金) 23:59**

## III. 文学研修申込のご案内

文学研修はJTB西日本教育旅行神戸支店が企画・実施する募集型企画旅行です。

「参加申込」と同様、文学研修も大会登録サイトにてお申込下さい。

11月17日(金)実施の文学研修につきまして、3コース(各コース定員30名)をご用意させていただいております。料金及びコースの詳細については大会登録サイトにてご覧いただけます。

最少催行人員：1名(B須磨・明石コースのみ20名)各コースとも添乗員は同行いたしません。

先着順の受付となります。定員に近付くと△で示し、定員に達すると申し込みなくなります。お早めに申し込み下さい。

☆**文学研修申込締切 平成29年10月13日(金) 23:59**

#### 【問合せ・申込先】

〒650-0034 神戸市中央区京町70番 松岡ビル6階

JTB西日本 教育旅行神戸支店「全国高等学校国語教育研究連合会第50回研究大会兵庫大会」係

TEL：078-391-6955 FAX：078-391-1143

受付担当：北垣・上村 受付時間：月～金 9:30～17:30(土・日曜・祝日は休業)

総合旅行業務取扱管理者：伊藤 与力

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行と取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関しご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱主任者にお尋ねください。

旅行企画・実施 JTB西日本  
観光庁長官登録旅行業第1768号  
一般社団法人日本旅行業協会正会員  
ボンド保証会員  
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-25

